日本共産党　水戸市議会議員

土田きよみ

みなさまのご支援で、１期４年間はたらくことができました。
２期目に挑みます。どうぞよろしくお願いいたします。

4/21 市議選

４月の水戸市議選は、定数２８名の議員をあらたにえらぶ選挙です。
あなたの声を市政に反映させ、願い実現にはたらく日本共産党を伸ばしてください。

日本共産党

市民の声をまっすぐブレずに

消費税 増税ストップ
憲法9条改悪ノー

安倍政権が、消費税増税や原発再稼働の強行で市民に負担と不安を押しつけているもとで、その悪政の"防波堤"となって市民の暮らしを守る市政がどうしても必要です。

くらし最優先

「ためこみ金」76億円を市民のために

国保税や介護保険料が高いことも、子育てや教育の負担が重いことも、税金の使い方が問題です。無駄づかいをただすと同時に、市の「ためこみ金」(財政調整基金)を有効活用することが必要です。

ねがい実現の財源あり

水戸市は、「ためこみ金」を76億円に積み増しています。そのうえ、国保会計も7億8千万円の黒字です。これらは市民が納めた税金や保険料であり、市民の願いを実現する「財源」はあります。

切実なねがい

- ●国保税・介護保険料引き下げ
- ●子ども医療費・給食費無料化
- ●高齢者の交通手段確保
- ●保育所・開放学級の待機ゼロ
- ●生活道路の整備・雨水対策

etc.

消費税10%で 1億6千万円 上下水道値上げ

▼市は上下水道料金に増税分を上乗せする方針です▼日本共産党は「飲料水や生活水に消費税を転嫁すべきでない」と求めています。

市民会館建設

ずさんな現計画は一から見直しを

事業費320億円、3700人収容可能な新市民会館を、再開発事業で建設するという計画は、立地もコストも規模も市民の声が反映されていません。不適切な予算執行も問題です。

借金ふやすハコモノやめよ

日本共産党は、ずさんな事業計画や法律無視で住民を追い出す問題などを次々に明らかにし、計画を一から見直すよう求めています。

あわせて、市民運動と連携してもっと安く早くできる市有地の活用案を示し、市民のための市民会館にしようと取り組んでいます。

「共産以外の反対なし」
(朝日新聞1月25日付)

▼『水戸市民会館計画 足元に不安』との見出しで、市が一部の建物床に賃借料を支払う方針を決めたために、市の支出が増額の恐れと報道。「共産以外の議員から市の案への反対意見は出なかった」と報じました。

住民投票を否決

●住民投票を求める署名1万5千人の請求に日本共産党は賛成しましたが、議会は反対多数で否決してしまいました。

東海第2原発

老朽原発 今すぐ 廃炉に

県内7割の市町村議会と10人の首長が、これまでに反対を表明しています。過酷事故が起きれば住民避難は不可能であり、農業や観光、雇用に取り返しのつかない被害を及ぼします。

「再稼働認めない」意見書を採択

日本共産党は、東海第2原発の危険性を一貫して追及。昨年6月の水戸市議会では「再稼働を認めない意見書」を議員17人の賛成で可決することができました。

市長も、市民の安全第一の立場できっぱりと反対すべきです。

「原発ゼロ」でブレない日本共産党を伸ばしてください。

事前了解権が拡大

日本原電との新たな安全協定により、水戸市にも再稼働の「実質的事前了解」の権限が拡大され、責任はさらに大きくなりました。